

令和6年第10回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和6年10月15日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A				
開会の日時・宣告者		令和6年10月15日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和6年10月15日（火）午前11時41分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席	教 育 委 員	林 晴 実	欠 席
傍聴人：0人				書 記：関 口 智 章・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	松 阪 隆 一				

会 議 事 件 名	顛	末
開 会 午前 9 時 30 分	教育長 開会を宣する。	
日程第 1 前回会議録の承認	教育長 令和 6 年第 9 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。	
日程第 2 議 事 議案第 24 号 幸手市立学校設置条例の一部を改正する 条例	教育総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 藤沼委員 全体では何件の応募があったのか、 教育総務課長 全体で 542 件の応募があり、そのうち重複や既存の校名などの無効を除くと 534 件であった。なお、校名案の選定を行った総務部会では、単に応募数が多い校名から選考するのではなく、校名案の理由も踏まえて協議し、最終的に 4 件に絞られた。 教育長 このほかには、どんな案があったのか。 教育総務課長 最も多かったのは東小中学校、次点が東雲（しのめ）小中学校、3 番がローマ字で EAST 学園、東学園と続く。 教育長 校名案の選考にあたり、どのような意見が交わされたのか。 教育総務課長 資料にお示しした意見があったほか、東小中学校については、校章への影響が少なく、保護者の負担が少なくな	

	るのではないかといった意見もあった。 高島委員 分かりやすくていいと思う。都道府県によって傾向があり、茨城県は義務教育学校、埼玉県は小中学校、東京都は学園が多い。落ち着くところに落ち着いたと感じる。 教育長 公立では、一般的には、複数の学校が集まる組織体を学園と解釈している所が多い。 高島委員 つくば市は、つくばエクスプレスが開通して保護者層が大きく変わり、義務教育学校という新しいものを取り入れたのだと考えている。 教育総務課長 総務部会では、低学年が義務教育学校と書くのは難しいのではないかといった意見や、学園は私立学校をイメージさせるのではないかといった意見も出た。 古沢委員 私の子も応募した。残念ながら採用されなかったが、自分達の学校を作るという感覚があったと思う。 教育長 今日の審議を受け、この後はどう進めるのか。 教育総務課長 10月25日に政策会議に諮り、了承を得られれば庁議を経て、12月の議会に条例案として上程する。 《採決》全員異議なく原案どおり議決。
議案第 25 号 幸手市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例 議案第 26 号 幸手市勤労青少年ホーム設置及び管理条例の一部を改正する条例 議案第 27 号 幸手市民文化体育館設置及び管理条例の	教育長 議案第 25 号から議案第 29 号は関連があることから、一括議題とする。 社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 藤沼委員 今回の改正で、歳入はどの程度変わるのか。 社会教育課長 令和 5 年度歳入との比較で、公民館の使用料が 36%の増、金額にして約 190 万円の増額になると見込んでいる。 藤沼委員

一部を改正する条例 議案第 28 号 幸手市立武道館設置 及び管理条例の一部 を改正する条例 議案第 29 号 幸手市都市公園条例 の一部を改正する条 例	市民がどう感じるかということはあるが、物価高騰もあるし、金額を変えることについてのきちんとした背景と、全体の積み上げで来年度の見込みのような準備をしておくべきである。 社会教育課長 歳出を見ると、平成 19 年度に比べて令和 5 年度は約 2,200 万円の増額になっている。令和元年度と比較しても約 800 万円の増額である。 藤沼委員 利用者にとって負担増というのはなかなか理解が得られにくいところではある。自分の支払いがどうなるかということしか見ていない人もいるだろう。 高島委員 私が中学校で野球部の監督をしていた当時、ひばりが丘球場で大会が開催された。とてもいい場所で、子ども達にとっては思い出に残ったことだろう。そういった施設のメンテナンスはお金がかかって大変という部分は理解してもらえと思う。会議室は 100 円単位だから、サークルで利用したとしても負担は少ないと感じる。 もう一つ、減免申請はどうなるのか。 また、アスカル幸手のさくらホールは、一般公演を増やして収入を増やすという方法もある。メンテナンスなど施設を維持するためにも呼び込みをどんどんやった方がいい。 社会教育課 体育施設では、市が実施する事業は 100%減免、市内の小中学校の児童・生徒が教員の引率の元に教育目的で使用する場合も 100%減免。また、市内の青少年育成団体、例えばスポーツ少年団や子ども会が指導者の引率の元に教育目的で使用する場合は 50%減免となっている。公民館では 100%減免というケースは少ない。一般市民が利用する際は 100%負担していただいている。 アスカル幸手については、指定管理者の方でいろいろ考えて、自主事業を積極的に実施してもらっている。さくらホールなどは近隣市町からの利用もあり、使用料を上げることで競争力が低下することもある。 高島委員 近隣市町と比べてアクセス面は不利だが、市民は行き
---	---

	やすいと思う。ちなみに、近々で有名な方が来る予定はあるのか。 社会教育課長 八神純子氏や劇団四季が公演予定である。 会田職務代理者 今まで市の努力で抑えてきたものを最大 1.5 倍に上げるということは、使う側からすると上がるという感覚が大きいと思う。一度に上げるのか、あるいは5年程度で少しずつ上げるのかいいのか判断が難しいところではある。5年後、10 年後に今の料金で適正なのか見直しをするという考えはあるのか。 社会教育課長 今年7月に改訂した「使用料・手数料の適正化に関する基本方針」では、5年サイクルでコストを試算するとなっている。 会田職務代理者 何年というのは難しいが、常に見直していく必要はある。受益者負担という考え方もあるし、市としてずっと同じ使用料で我慢しなければならないということはないと思う。 教育部長 全庁的に見直そうとなったが、ここ数年で金額が上がってきたと感じるところが大きい。特に光熱水費も極端に上がってきているし、コストが10年前・20年前に比べて上がってきたのが顕著であり、市として値上げすることとなった。 会田職務代理者 何かを変えるにはエネルギーを必要とする。例年どおりというだけでなく、この料金でいいのか、今のシステムでいいのかということを常に考えてほしい。その上で、税収や受益者負担を考え、上げた方がいいのか、上げない方がいいのかということを考える場が必要だと思う。 藤沼委員 使用料を変えると、情報システムはどの程度手を加えるのか。 社会教育課長 職員が手直しで対応できる部分もあり、そういったことも含めて現在、システム業者に見積りを依頼している
--	--

	ところ。 教育長 この後の手続き的な流れは。 社会教育課長 令和6年12月の市議会に条例の改正案を上程し、議決を得られれば周知をはじめ、令和7年4月1日から適用となる。なお、すでに4月1日以降の予約が入っており、具体的な金額は伏せて料金改定のアナウンスを始めている。 《採決》全ての議案に全員異議なく原案どおり議決。
専決報告第20号 事務局職員の人事	教育長 専決報告については、一括して説明・報告を行い、その後、質疑を受けたい。 教育総務課長 議案書により説明する。
専決報告第21号 会計年度任用職員の 任免	学校教育課長 議案書により説明する。
専決報告第22号 臨時的任用教職員の 内申	学校教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 藤沼委員 会計年度任用職員の任免について、年度当初から不足することが見えていたのか。 学校教育課長 本人の都合による辞職で欠員が生じたものであり、当初は年度を通して雇用する予定だった。万が一、欠員が生じた場合に備え、人員の候補はある。 藤沼委員 1年だけの雇用ではなく、数年に亘っての雇用がサービスの向上、すなわち子ども達のためになるのではないか。職員がたびたび変わっては、持っている情報が伝えられず、その都度ゼロスタートになってしまう。現場を考えると時間軸は長い方がよい。

日程第 3 行政報告 1 教育長報告 2 事務局からの 主要な報告	学校教育課長 会計年度任用職員は、1 年度を基本として 3 年で更新 をすることが多い。 教育長 1 各種教育長会議等 教育総務課長、学校教育課長、社会教育課長 令和 6 年度教育行政重点施策（上半期）の進捗状況につ いて資料により説明する。 教育総務課長 1 学校再編について 学校教育課長 1 幸手市教育委員会研究委嘱校の研究発表について 2 市内小・中学校音楽発表会（幸手市教育研究会主催） 3 10 月下旬からの主な行事 社会教育課長 1 第 5 回幸手市グラウンドゴルフプラチナ大会（主催： 幸手市社会福祉協議会、幸手市、幸手市教育委員会） 2 幸手市青少年問題協議会 社会教育課長（公民館） 1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位 5 冊） 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況
---	--

	2 自主事業 3 今後の自主事業 について資料により説明する。 《質疑》 古沢委員 教育行政重点施策（上半期）の進捗状況について、2点お話しさせていただきたい。1点目は、「現在までの状況・今後の対応」の欄について、今現在で成果が出ているものや、結果としてどういうものがあつたのかを明記するとより方向性が分かりやすいと思う。特に政策の中で顕著に成果が見られたものがあれば各分野で抜粋して教えていただきたい。 2点目は、子ども達の文化芸術活動の充実という点で、子どもの頃から文化芸術活動をし、親しむ機会を増やす色々な企画を実施して大変ありがたいと思うが、市民の方にとって芸術が日常であるとか、幸手市の特色として芸術を挙げるといふところまでは浸透していないと思っている。アスカル幸手という素晴らしい施設があるので、いかにして市民に関心を持ってもらい、事業にうまく取り込めるよう、事業を発信しコロナの影響で離れてしまった市民を呼び戻すことが課題と感じている。 来月11月の文化祭が、市民に知ってもらい、体験してもらうとても良い機会になると期待している。 教育長 今年度上半期で顕著に成果が見られるものがあれば、順次説明をお願いします。 教育総務課長 水泳授業の外部委託について、実施した各校の児童及び教職員を対象にアンケートを実施しており、外部委託について概ね肯定的な意見が集まっている。民間の屋内プールを利用することで、天候や気温に左右されず、専門のコーチが入ってくれるので指導の効果も高かったという声をいただいている。それを踏まえ、来年度は小学校全校に拡大できればと考えている。 学校教育課長 読解力の向上について、宿題や10分程度の短時間を活用しながら新聞記事を基に読む力をつけるという取組を進めている。徐々にではあるが、学力調査への取組で端的
--	---

	に要点を絞って記入する、または必要な語句を選ぶという力が身につけてきているという成果が見られている。 また、自立的に生きていく力の育成について、リーディングDX事業で幸手市は昨年度から研究校の指定を受けているところで今年度は指定校4校での取組を進めている。タブレット端末の活用だけでなく、情報化社会をどう生きていくかという力をつけるような取組を行っている。 社会教育課長 文化祭では、発表の場が年1回しかなく、年間を通じてもう少し市民の発表の機会を持てないかというところで、年4回開催のランチタイムコンサートや、ステーションギャラリーでは毎月いろいろな展示物を幸手駅の自由通路に展示している。文化団体の皆さんからは、発表の場があることでやりがいに繋がると伺っており、そういう場を創ることが文化の躍進に繋がると感じている。 高島委員 学校教育について4点お話しさせていただく。1点目は、全国・埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用の推進で、予算申請とあるがどのような例が考えられるのか伺いたい。また、幸手市統一学力調査の実施と活用という点もあるが、学力調査の目的は教員の指導法の改善という面もあるので、子ども達がこれだけ点が取れたで終わりではなく、どれだけ理解できたかを聴きながら、先生方の指導法の改善に生かせるような場面を設けていくことが大切であるということをお願いしたい。 2点目は、ALTの効果的な活用について、派遣元から指導員が来て指導してもらっているのか伺いたい。 3点目は、部活動の地域連携に向けて、現状で出てきている課題や成果を伺いたい。 4点目は、校務のDX化について。義務教育学校の話でもあったが、教材の共有が大変重要であるとのことで、現在の学校の状況について教えていただきたい。 学校教育課長 学力調査の結果について、点数が取れたから終わりではないことは承知しており、我々教員がどのように良い授業を作っていくかが根底にあると思っている。特に今年度は中学校で良い方向に向かいつつも、もう一歩とい
--	---

	うところがあるので、よりスピード感を持って対応していくためにはどういうことができるのか考えていきたい。例えば中学校の教員を中心に、分析結果をどのように生かしていくのかという視点で研修会を設けたり、講師を呼んで講習を開くといった予算立てが考えられる。 ALT については、3 名が JET プログラムで中学校に配置しており、小学校については民間委託により派遣してもらっている。民間委託の業者については、学期に 1 回程度授業をみて、どういった課題があるのかという情報を基に協議をしながら進めている。JET については、指導主事が授業を見て協議しながら進めている。 部活動の指導員については、非常に熱心に指導していただいております、子ども達もより専門的な立場で教えていただけるということでやる気に満ち溢れた部活動になっている。課題としては、練習試合などで遠征した時の費用面や、普段の指導では時間的な制限があるという点を今後どう改善していくか、また、指導員も限りがあるという点で協議会を立ち上げながら広げていくという視点で進めていかなければならないと考えている。 校務の DX 化については、子ども達のタブレット端末の活用と合わせて、よりよく使うという一歩進んだ形での取組を進めている。学校によっては、先生同士で情報を共有したり、様々な研修会に参加した先生の情報を基により良い活用方法について、技量を高める視点も含めながら取り組んでいる。また、教材を一つのフォルダに入れて共有しながら使っている。 高島委員 学力の件について、小中の連携というのは、形式ばらずに情報交換をしていくと仲良くなって本音で話し合えると思っている。それが結果的に子ども達に良い影響を与えていく。 藤沼委員 4 点お話ししたい。1 点目は、教育関係の計画を見ると、これ以外にも相当数の取組みがあるが、ここに載っていない部分で課題があるか。 2 点目は、教育支援センターの整備の中で、心理職の専門資格を有するカウンセラーを配置とあるが、どのような資格で、何人配置しているのか。
--	---

	3点目は、働き方改革について。共同学校事務室の活用というところで、更なる効率化を目指していくためには大胆な改善をしなければならないだろうと思っている。例えばペーパーレスを図りながら、子ども達や保護者に還元できることを目指して改善していただきたい。 4点目は、地震や台風がいつ来るかわからないというところで、危機管理の強化・見直しが必要であり、ある程度のサイクルで子ども達に周知していかなければならないと考える。 学校教育課長 教育支援センターについては、国家資格を有した方を配置し、各学校からの要望に応じて相談に応じたり、または発達検査をしながら子ども達のより良い学びの支援ということでご活躍をいただいている。 働き方改革については、時間を削ろうという意識が教職員に浸透しつつあるという状況である。限度もあると思うが、働き甲斐が見出せるような仕事を、ということで進めていけばと考えており、そのための枠組みはこちらで作っていかなければならないと考えている。例えば子ども達に教える時間も限られた中で効率よくという視点で進めていく必要もある。 危機管理については、今年度、危機管理マニュアルを見直したところである。例えば昨年度のさかえ小学校では、月1回避難訓練ということで日にちを設定した訓練を行ったり、突発的に予告なしの訓練を実施するなど、社会の情勢に合わせた訓練を行っているところでもある。 教育総務課長 学校から日々寄せられる施設の不具合に適宜対応しているところであり、今後も引き続き子ども達や教職員の安全が図れるような形で対応していきたい。 会田職務代理者 3点ある。1点目は、確かな学力の育成の英語技能検定の助成について、193名となっているが市内の中学3年生の何割に当たるのか。また前年度と比較してどうなっているか。 2点目は、藤沼委員と同じく教育支援センターについて、後日で構わないので、1年間で何件の相談があつて主たる成果がどのようなものだったのか教えていただきたい
--	---

	い。 3点目は、教育総務課の業務について。小・中学校の再編や水泳授業の外部委託が進んでいる中、タブレット端末のことなど業務量が増大しているようだが、人数が足りているのか、あるいは予算がたりているのかといったところを伺いたい。 学校教育課長 今は数字的なものは持っていないが、英語検定を通して、子ども達の英語に対する思いや考えがより良い方向に向かっていると感じる。受験者数も徐々に伸びてきているので、さらに広めていきたいと思う。 教育支援センターの相談件数については、年間通じて把握をしながら次年度に向けて土台作りを進めていきたい。 教育総務課長 人員の配置については、今年度、学校再編担当を立ち上げたが、昨年度から人数の要望をしており、一定数の人の配置をしていただけたと考えている。ただ、報告にあるとおり、夜間も含めかなりの回数の会議を開催しており職員の負担は大きいことから、来年度に向けて人数の配置について再度要望したところ。また、予算について、来年度も引き続き厳しい状況にあるという話を伺っているところではあるが、教育として必要なものは引き続き要望していきたい。 藤沼委員 文化祭の開催について、案内のチラシを見ると循環バスの時刻表が掲載されているが、土曜日だけなのか。日曜日は運行されないのか。 社会教育課長 現在運行している市内循環バスを案内しているものであり、日曜日は運行していないため、土曜日だけとなっている。 教育部長 このような形でやってみて、ニーズを見て今後検証していきたい。今回は特別に用意したバスではないということは御理解いただきたい。
--	--

ほか特に重要 と認める事項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、こ ここに署名する。 令和6年11月19日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 藤 沼 寛 次